令和７年度　現場に関わる女性社員交流会　開催結果

開 催 日：令和７年１０月１７日（金）１１：００～１５：３０

参 加 者：２９社６４名 ＋ 見学者 12 名（内行政 10 名）

（参加者内訳…横浜支部：39 名、川崎支部：5 名、相模原支部：2 名、藤沢支部：6 名、茅ヶ崎支部：5 名、県央支部：4 名、大和支部：3 名）

主　　催：一般社団法人 神奈川県建設業協会

実施場所：アニヴェルセルみなとみらい横浜（横浜市中区新港 2-1-4）

司会進行：佐久間 寿美江　氏

パネリスト：萩原 忍　氏、石井 高子　氏、新井 正和　氏、國方 広一郎　氏

開会あいさつ

（一社）神奈川県建設業協会　会長　渡邉 一郎

「交流会で得た知見を各社に持ち帰り、女性が働きやすい建設業実現の一助にしてほしい」と呼びかけた

第１部　トークショー『女性技術者と会社の歩みーともに描く未来』11:00-12:20

登壇者：佐久間寿美江氏、石井高子氏、萩原忍氏、新井正和氏、國方広一郎氏

配信 URL：https://youtube.com/live/hYKfOL8sNmI?feature=share

昼食（昼食前名刺交換タイム）12：20～13：30

第２部　グループワーク『女性が働きやすい環境にするにはどうすればよいか』

13:30-15:30

リアルタイム投票　別添資料参照

64 名、12 テーブルで話し合い、各テーブルで話し合った結果を発表した。

『女性が働きやすい環境にするにはどうすればよいか』

・産休・育休に対する柔軟な対応の規定を作る。
・スキルアップへのサポートを通じて給与の賃上げを図る。
・自信を持って仕事をすることで女性だからと下に見られることを防ぐ。
・最低限の設備をしっかり整える（トイレ）。女性としてのやりがいというより、建設業としてのやりがいを感じられるように会社の取り組みを整える。
・男女違うのは当たり前。メリットとデメリットをしっかり理解し昇華して男女ともに働きやすい環境をつくる。
・福利厚生サービスの充実。（市独自のものや会社独自のもの）
・フルハーネス等の技術講習を女性限定で行う。協力会社の女性技術者同士の交流会などの開催。
・ロールモデルが身近にいないので、定期的な同業他社の交流会を開く。男性からの過剰な気遣いがあるので、男女問わず直属の上司以外の人間と定期的な面談を行う。
・有給とは別に男女問わずライフサポート休暇を設ける。社内規定をみんなが見れるところに置いておく。
・産休／育休中に戻るための訓練として書類作成など負担にならない仕事をテレワークで行うなどの制度を作る。
・相談しやすい先輩がいること。
・名前のない雑務は女性が押し付けられる。男女比率が均等に近づいていけば会社も女性の意見を聞くようになっていくのでは。

など各テーブルでは様々な意見が出た。